

Keiba Global Front Line

競馬グローバル・フロントライン

競馬の最前線で活躍する馬や人を紹介致します



合田 直弘

9月18日、北米オクラホマ州のレミントンパーク競馬場で行われた開催の、第2Rに組まれた条件戦(d7F)を、管理馬トロイオンス(牡4、父ゴールデンセンス)が制し、開業以来の通算勝ち星が9000勝に到達した、ステイーク・アスマッシュ調教師(55歳)が今月のこのコラムの主役である。

これに3か月ほど先立つ6月13日、JR Aの藤沢和雄調教師(68歳)が通算1500勝を達成し、尾形藤吉調教師(1670勝)に次ぐ2人目の快挙と称えられたが、9000勝というのは単純計算で6倍にあたる途轍もない数字だ。毎日複数の競馬場で開催が行われている北米においても、これは稀な数字で、アスマッシュ調教師も藤沢師同様、北米史上2人目となる9000勝到達だった。

1965年11月18日にサウスダコタ州のゲッティーズバーグで、アスマッシュセン家の次男として生まれたのがステイークだ。父キースは、騎手から調教師に転身して成功した人物で、兄キヤッショは欧米を股にかけて活躍した元名騎手である。一家はテキサス州南部のラレドという街で、エル・プレミロ・トレーニングセンターという競走馬の調教施設を営み、ステイークは5歳の頃から父を手伝い、引き運動をし、馬房掃除をしていたというから、まさに生粋のホースマンである。

トンパーク競馬場で行われた開催の、第2Rに組まれた条件戦(d7F)を、管理馬トロイオンス(牡4、父ゴールデンセンス)が制し、開業以来の通算勝ち星が9000勝に到達した、ステイーク・アスマッシュ調教師(55歳)が今月のこのコラムの主役である。

これに3か月ほど先立つ6月13日、JR Aの藤沢和雄調教師(68歳)が通算1500勝を達成し、尾形藤吉調教師(1670勝)に次ぐ2人目の快挙と称えられたが、9000勝というのは単純計算で6倍にあたる途轍もない数字だ。毎日複数の競馬場で開催が行われている北米においても、これは稀な数字で、アスマッシュ調教師も藤沢師同様、北米史上2人目となる9000勝到達だった。

現在の恰幅のよい風貌からは想像もつかないが、16歳の時に騎手免許を取得して実戦での騎乗を開始。ニューメキシコ、カリフォルニア、ニューヨークを拠点に2年半にわたって騎乗し、63勝をマークしている。

20歳だった86年春に、ニューメキシコ州を拠点にして自らの厩舎を開業。当初はサラブレッドとクオーターホースを取り混ぜて管理していたが、徐々にサラブレッドのみにシフト。開業10年目の95年に年間勝利度数が初めて三桁に乗る130勝を挙げ、全国的に名が売れるところになつた。

96年4月、ヴァリッドエクスペクトーションズでチャーチルダウンズのG3ダービートライアルSを制し、待望の重賞初制覇。99年6月、ドリームスガローラでベルモントパークのG1マザーグースSを制し、G1初制覇を果たしている。

00年には年間233勝を挙げ、全米リーディング勝利度数部門で第3位に躍進。この年を皮切りに勝ち星の量産態勢に入り、02年には年間407勝で遂に勝利度数の全米リーディングを獲得している。そして04年、ジャック・ヴァン・バークが76年にマークした496勝を破り、北米史上初めて500勝の大台を越える。年間555勝という新記録を樹立している。

その後、彼は08年に621勝、09年に50勝と、自らの記録を2度塗り替えている。

数だけでなく質も極上となつたのがこの頃からのアスマッシュセン厩舎で、07年にはカーリングでG1プリーケネスS、G1BCクラシックに優勝。そのカーリングでG1ジョッキークラブGCなど3つのG1を、ステューデントカウンシルでG1ピムリコスペシャルを制した08年には、調教師ランキンゴの賞金取得部門でも首位となり、エクリプス賞調教師部門を初受賞。09年も、レイチエルアレグザンドラでG1プリーケネスSなど4つのG1を制した他、ホットディイキシーチック、コーディアップカウボイなど4つのG1勝ち馬を管理し、2年連続でエクリプス賞を受賞している。

近年では、18年の全米年度代表馬ガランナーが、アスマッシュセンの管理馬だつた。

北米における調教師の歴代最多勝は、デール・ベアード師が61年から07年にかけて積み上げた9445勝だ。アスマッシュセン師のここ3年の年間勝利度数は平均で404勝だから、21年の後半には、ベアード師を抜き歴代首位に立つ計算となる。そして、前人未到の1万勝も、既に現実的な目標と言えるところまで迫っている。歴史的瞬間の到来を、競馬ファンとして心待ちにしたい。

00年には年間233勝を挙げ、全米リーディング勝利度数部門で第3位に躍進。この年を皮切りに勝ち星の量産態勢に入り、02年には年間407勝で遂に勝利度数の全米リーディングを獲得している。そして04年、ジャック・ヴァン・バークが76年にマークした496勝を破り、北米史上初めて500勝の大台を越える。年間555勝という新記録を樹立している。